

## はじめに

湧水は豊かな自然を育み、また私達の生活に安らぎを与える貴重な財産といえます。しかしながら、都市化に伴う掘削工事等での地下水脈の分断やアスファルト舗装による地下水の浸透阻害等による湧水の消失や湧水量の減少、そして水質の悪化等により、昨今の湧水を取り巻く環境は徐々に悪化しているといわざるを得ず、東京都が行っているアンケート調査によれば、平成12年には都内全域で717箇所あった湧水が、5年後の平成17年度調査では707箇所と10箇所減少しています。

また、以前は飲用や洗濯、田用水など日常生活の様々な局面で利用されていた湧水ですが、現在ではこうした利用はほとんどされておらず、私たちと湧水の関係はどんどん希薄化していると言えるでしょう。

このような状況の中で今一度湧水の価値を見直し、それらの保存や保護の必要性を検討する資料とするために、平成17年～18年の2カ年にわたり市内の湧水調査をおこなった結果をまとめたものがこの報告書です。

この報告書が多くの方々から湧水に関心をもたれるきっかけとなれば幸いです。

また、この調査は市民有志の皆様によって結成した「ふっさ湧き水探検隊」によってデータの採取が行われました。熱意を持って調査に加わっていただいたメンバーの皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。また、調査にあたって私有地への立ち入りを許可していただいた地権者の皆様、聞き取り調査においてお話をしていただいた方々にも、深く御礼申し上げます次第です。

平成19年3月

福生市生活環境部

## 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 調査体制と経緯          | 1  |
| 2. 福生の湧き水とは         | 2  |
| 3. 湧き水調査の方法とデータの読み方 | 5  |
| 調査地点図               | 7  |
| 4. 調査結果             | 8  |
| 5. まとめと考察           | 18 |
| 6. 湧き水周辺環境の調査       | 23 |
| 7. 聞き取り調査           | 25 |
| 付：調査箇所写真等           | 34 |
| 付：水道法水質基準適否検査の結果    | 35 |